

落札者決定基準

令和8年4月

大阪公立大学

令和8年度スマート社会研修企画運営業務委託

総合評価一般競争入札

提案書等の評価にあたり、内容を公平かつ客観的に評価し、最適な事業者を選定するため、次に掲げる方法により、仕様面及び価格面の2つの観点で評価する。

1. 審査機関

- (1) 本委託の審査については、大阪公立大学令和8年度スマート社会研修企画運營業務委託提案審査委員会（以下「委員会」という。）において実施する。
- (2) 委員会は、本委託の入札説明書で求める提案書が、下記3. 提案書の評価方法に基づき仕様書に記載している要件を満たし、かつ優れた提案となっているかの判断及び以下4. 価格点の算出方法に基づき付与する点数の判断について審査する。

2. 落札者決定基準

- (1) 技術点および価格点の配分
点数については、60点満点とし、得点配分については、技術点を50点、価格点を10点とする。なお、技術点の点数内訳は別紙配点表のとおりとする。
- (2) 落札者の決定方法
落札者の決定方法については、次に掲げる各要件のいずれにも該当する入札者のうち、3～5に定める評価方法により算出された技術点と価格点の合計点が最も高い者とする。
 - (ア) 価格点の基となる入札価格が、予定価格の制限の範囲内であること。
 - (イ) 各評価項目の技術点が35点以上であること。
 - (ウ) 「提案書等作成要領」別紙「提案書記載依頼事項」に示す評価項目中のいずれか1項目でも0点でないこと。なお、最高得点者が2者以上あるときは、技術点が高い者を落札者として決定する。技術点、価格点とも同点の場合は、入札書記載金額の低い者を落札者として決定する。技術点、価格点とも同点で入札書記載金額が同額の場合は、入札執行業務に関係のない職員に、くじを引かせ落札者を決定する。

3. 提案書の評価方法

- 技術点については、仕様書および評価基準に基づき次のとおり行うこととする。
- (1) 提案書の評価項目および評価基準は、別紙配点表（技術点）のとおりとする。
 - (2) 各提案について、評価基準に記載している要求要件を満たしているかを判断し、具体的かつ評価できる場合については、その提案に応じ技術点を付与する。
 - (3) 仕様書および評価基準に記載されていない提案については、本業務の必要度および重要度に照らし、必要の範囲を超えているものについては評価の対象としない。

4. 評価点の考え方

(1) 評価項目単位の技術点の採点は、0～5点までの次の6段階評価とする。

- 非常に優れている・・・・・・・・・・5点
- 優れている・・・・・・・・・・4点
- 理解できる・・・・・・・・・・3点
- 低いレベルである・・・・・・・・・・2点
- 非常に低いレベルである・・・・・・1点
- 提案が無いまたは記載がない・・0点

(2) 評価項目の重要度に応じて、1～3倍の重み付けを行う。

5. 価格点の算出方法

価格点の算出については、次のとおり行うこととする。

(1) 価格点は、本委託の入札書記載金額に応じて点数化するものとする。

(2) 技術点を決定後、以下の算出方法により価格点を算出する。入札書記載金額が予定価格以下のものを対象に、下記に示す方法により、価格点を算出する。

$$\text{「価格点} = 10 \times (1 - \text{入札書記載金額} / \text{予定価格})$$

評価点は小数点以下第2位を四捨五入

なお、入札書記載金額が予定価格を上回っているときは、失格とする。

大阪公立大学令和8年度スマート社会研修企画運営業務委託
総合評価型一般競争入札 配点表（技術点）

No.	評価項目	評価基準	配点 (満点)
1	業務理解	(1) 本事業内容を理解し、コンセプトに沿った企画提案となっているか。	10点
2	実績	(2) 同種又は類似業務の十分な実績があるか。 (3) 過去の実績から、本件の仕様書等の趣旨に沿った提案を期待できるか。	10点
3	業務推進体制	(1) 本業務を確実に実施できる体制となっているか。	10点
4	提案力	(1) 企画提案のコンセプト、企画提案でアピールしたいことが効果的な内容の提案となっているか。 (2) 企画の実現性が明確となっているか。 (3) 新規性に富んでいるか。 (4) 仕様書にない項目で、特に評価すべき創意、工夫が見られるか。	15点
5	参考見積額	(1) 予算範囲内で最大の効果が得られる提案であるか。 (2) 提案内容と費用のバランスが取れているか。	5点
合計			50点

※評価方法・評価点の考え方は、別紙・落札者決定基準に記載のとおり